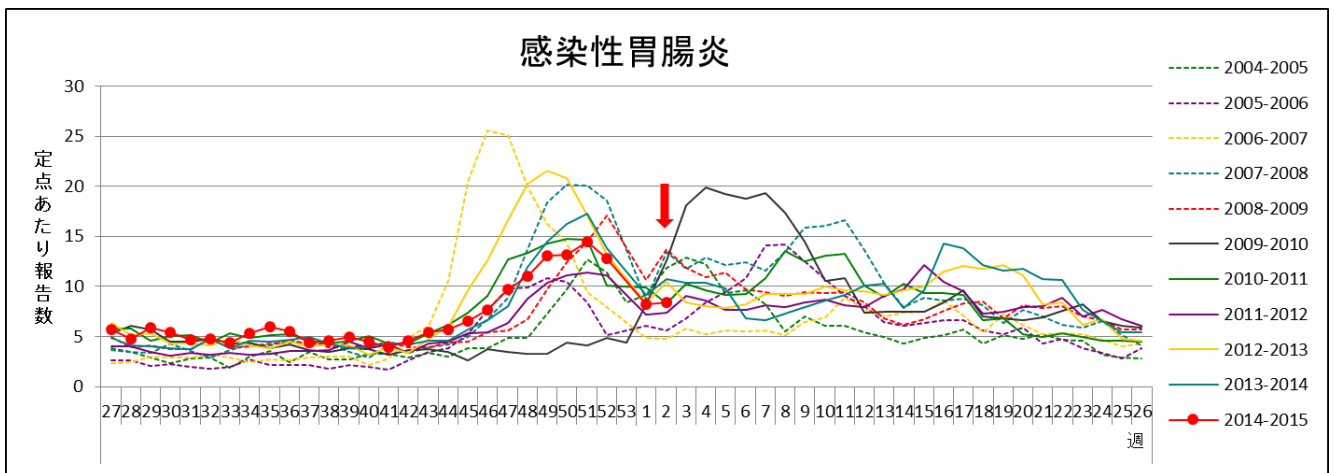


# 感染性胃腸炎週報 2015年 第2週 (1月5日～1月11日)

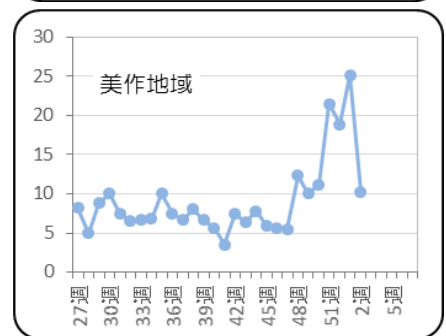
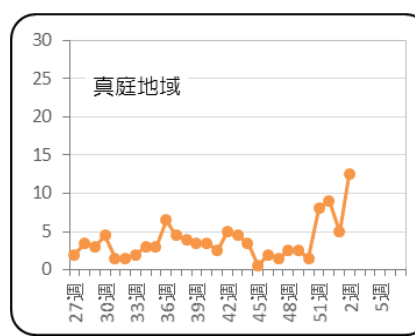
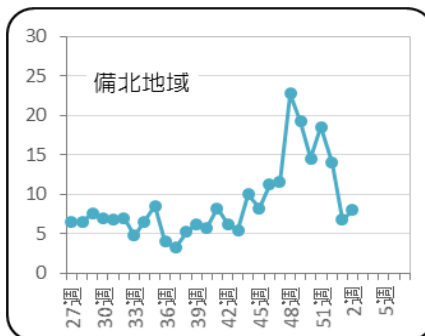
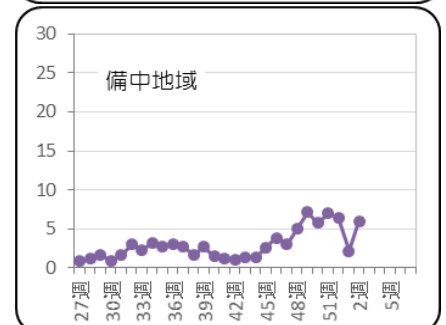
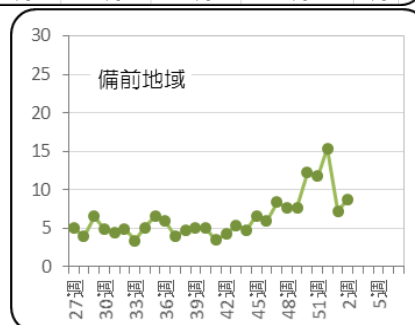
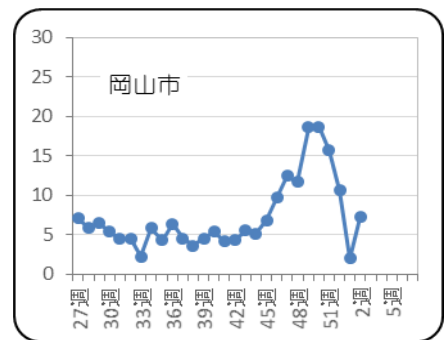
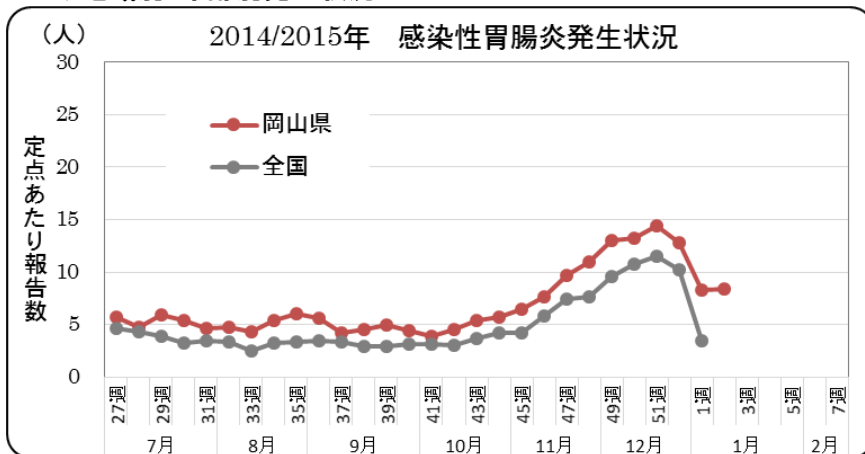
○感染性胃腸炎は、県全体で453名（定点あたり8.24 → 8.39人）の発生がありました（54定点医療機関報告）。



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で453名（定点あたり8.24 → 8.39人）の発生があり、前週とほぼ同数でした。依然として多くの患者が報告されています。冬の感染性胃腸炎の原因はノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

## ◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、真庭地域（12.50人）、美作地域（10.17人）、倉敷市（9.45人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。また、岡山市（2.00 → 7.21人）、備中地域（2.14 → 6.00人）、真庭地域（5.00 → 12.50人）では、報告数が前週より大きく増加しました。年齢別累計では、5歳以下の乳幼児が全体の61%を占めています。

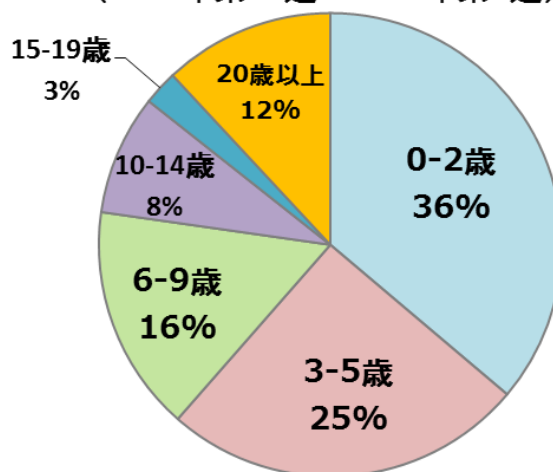
### 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年2週



レベル3		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値	基準値
20	12	0 20未満	0		

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

### 感染性胃腸炎 年齢別累計割合 (2014年第27週～2015年第2週)



## ノロウイルスに感染しないためには

1. 最も大切なことは手を洗うことです。  
排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。  
嘔吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、嘔吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。ノロウイルスにアルコールは消毒効果が低いとされています。
3. 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分間以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**の消毒が有効です。  
嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。  
※塩素系漂白剤の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。
4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

[ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省ホームページ）](#)

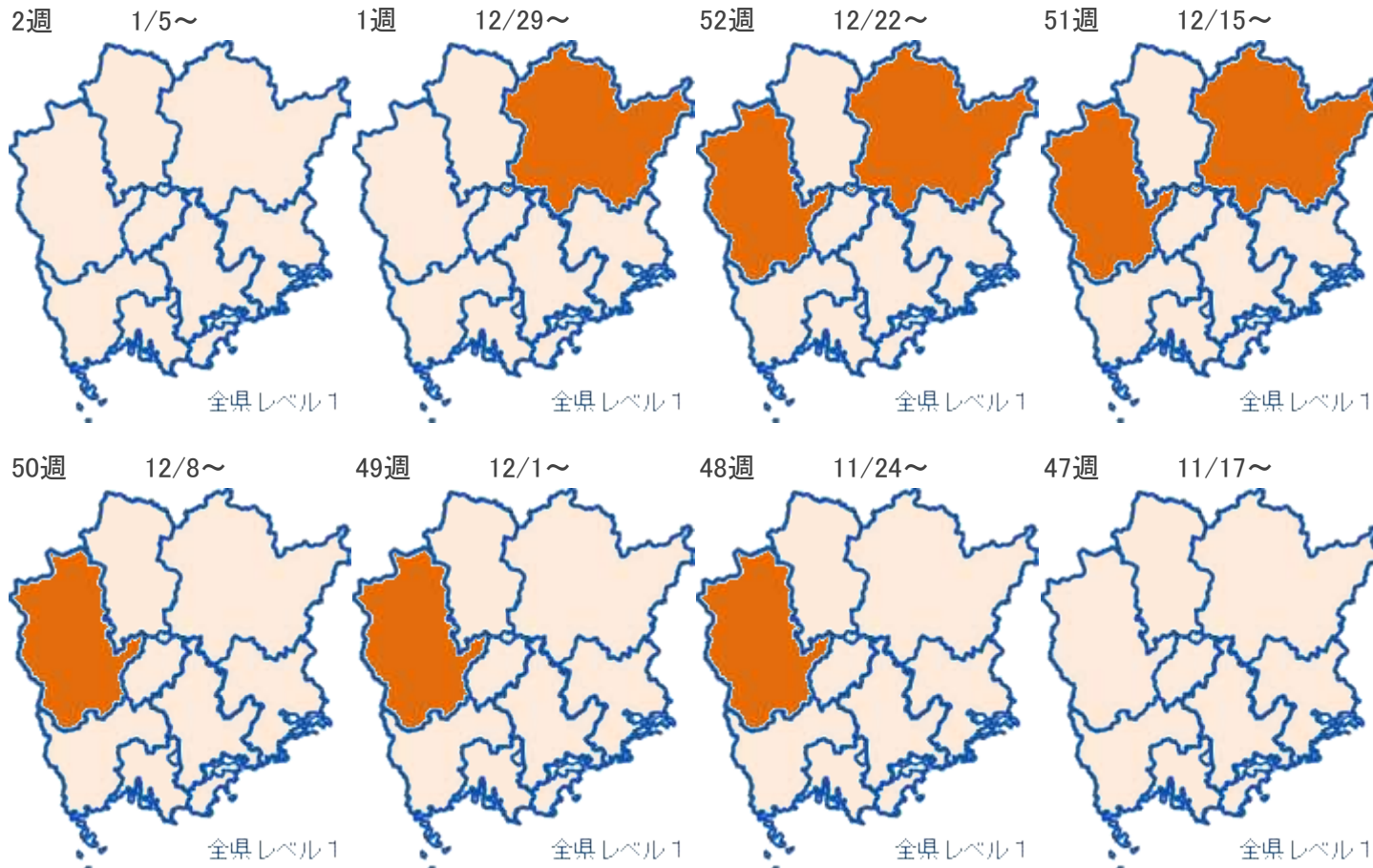
[食中毒（ノロウイルス）注意報を発令中です（岡山県ホームページ生活衛生課）](#)



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年 2週

2015年1月15日

14:20:50



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。